



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田村 春生
問合せ先責任者（役職名） IR室長（氏名） 江口 聡（TEL）045-941-1388
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月3日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	82,933	2.3	4,171	9.8	3,824	7.5	2,791	35.3
2024年3月期中間期	81,055	7.2	3,798	87.9	3,557	111.6	2,063	243.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,123百万円（△1.5%） 2024年3月期中間期 2,156百万円（194.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	33.21	—
2024年3月期中間期	24.50	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	220,742	136,174	61.6
2024年3月期	236,327	137,056	57.9

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 135,884百万円 2024年3月期 136,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	37.00	50.00
2025年3月期	—	15.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	40.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,800	2.2	15,000	8.2	14,300	8.0	8,000	5.6	95.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

売上高及び経常利益を修正しております。また、セグメント別通期業績予想を修正しておりますので、添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) ①の詳細は、添付資料9ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	86,649,504株	2024年3月期	86,649,504株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,551,593株	2024年3月期	2,626,986株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	84,043,934株	2024年3月期中間期	84,218,844株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料について）

・決算補足説明資料については、2024年11月8日（金）にTDnetに開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

（決算説明会資料について）

・当社は、2024年11月21日（木）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会（WEB説明会）を開催する予定です。この決算説明会資料については、開催当日の午前中に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績、雇用や所得環境の改善、また、個人消費も賃金の上昇等により底堅く推移するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、不安定な海外情勢や円安を背景にエネルギーや原材料価格が高騰し物価上昇に伴う個人消費などへの影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は829億33百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は41億71百万円(前年同期比9.8%増)、経常利益は38億24百万円(前年同期比7.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は27億91百万円(前年同期比35.3%増)と増収増益になりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(ファッション事業)

ファッション事業では、商品面において、年々暑くなる日本の夏を少しでも快適にお過ごしいただくため、さまざまな機能付クールビズ関連商品をメンズ、レディースともに拡充いたしました。AOKIでは、きちんと感と動きやすさを兼ね備えたカジュアルBIZスタイル「BIZ MOVE」シリーズを新たに展開いたしました。レディースでは、厳しい夏の日差しからお肌を守る「キンセキカットシリーズ」より、新アイテムとしてTシャツやカーディガンなどを拡充いたしました。ORIHICAでは、日常からビジネスやパーティシーンまで、どんな季節・シーンでも着回しができる「無限コーデShirt」を販売するなど、ビジカジ商品の品揃えを拡充いたしました。店舗面ではORIHICAで未出店エリアなどに6店舗を新規出店した一方、営業効率改善や移転のためAOKIとORIHICAでそれぞれ1店舗を閉鎖した結果、当中間期末の店舗数は597店舗(前期末593店舗)となりました。

これらの諸施策の実施等により、クールビズ関連商品やカジュアル衣料が好調に推移した一方、集客のための販売促進の強化やコストが上昇した結果、売上高は382億63百万円(前年同期比1.6%増)、営業損失は2億22百万円(前年同期は営業利益4億37百万円)となりました。

(エンターテインメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、鍵付き完全個室店舗の拡大を推進するとともに、猛暑に伴う室内アミューズメント需要の取り込みを図りました。カラオケのコート・ダジュールでは、人気メニュー「金のポテト」や「俺のフレンチ・イタリアン」監修メニューをグランドメニューに加えるなど飲食メニューの拡充に注力いたしました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24では、無料開放DAYの開催や高校生プランの導入など、新規会員の獲得に注力いたしました。店舗面では、快活CLUBで6店舗、FIT24で2店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため、快活CLUBで3店舗、コート・ダジュールで4店舗を閉鎖した結果、ランシシステムの複合カフェ自遊空間他83店舗(内フランチャイズ50店舗)を含め、当中間期末の店舗数は776店舗(前期末784店舗)となりました。

これら諸施策の実施及び避暑需要が増加し既存店が好調に推移したこと等により、売上高は387億1百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は44億5百万円(前年同期比17.9%増)と増収増益になりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、最新のトレンドを取り入れたオリジナルのウェディングスタイル「TREND COLLECTIONS」の2024年新作を発表するなど、引き続き受注活動及び成約率アップの施策を強化いたしました。また、開業10周年の節目を迎えた日本最大級のゲストハウスウェディング施設「アニヴェルセル みなとみらい横浜」を9月14日にリニューアルオープンいたしました。今後はウェディングスタイルの変化や年々増加するMICE(企業や団体が行う会議等)需要など、多様化するニーズにお応えしてまいります。

これらの結果、前年9月中旬まで休館中であった表参道店が稼働したこと及びリニューアル費用が減少したこと等により、売上高は49億6百万円(前年同期比12.8%増)、営業損失は3億75百万円(前年同期は営業損失4億34百万円)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、前期に当社グループ外に賃貸した店舗が寄与したこと等により、売上高は33億84百万円(前年同期比24.2%増)、営業利益は7億92百万円(前年同期比72.0%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ155億84百万円減少し、2,207億42百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が29億18百万円及び売掛金が季節的要因等により86億44百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ141億40百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が5億96百万円増加した一方、投資有価証券の売却等により投資その他の資産のその他が18億57百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ14億44百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、短期借入れを60億円実施した一方、買掛金が季節的要因等により74億25百万円、未払法人税等が法人税等の支払いにより13億61百万円、賞与引当金が19億61百万円及び未払金等のその他が28億45百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ68億16百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により77億10百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ78億86百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益及び配当金の支払いの結果3億17百万円及び投資有価証券の売却等によりその他有価証券評価差額金が6億19百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ8億82百万円減少しております。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末と比べ29億18百万円減少し、327億39百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は37億62百万円(前年同期と比べ9百万円増加)となりました。これは主に、法人税等の支払額が20億74百万円、投資有価証券売却益が5億63百万円及び未払消費税等の減少額が5億37百万円となった一方、税金等調整前中間純利益が38億89百万円及び減価償却費が49億60百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、16億99百万円(前年同期と比べ47億54百万円減少)となりました。これは主に、信託受益権の純減額が16億36百万円、投資有価証券の売却に伴う収入が13億4百万円及び有形固定資産の売却による収入が11億85百万円となった一方、新規出店及びリニューアル等に伴う有形固定資産の取得が53億57百万円となったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、49億81百万円(前年同期と比べ9億20百万円減少)となりました。これは主に、短期借入れを60億円実施した一方、長期借入金の約定返済が67億68百万円及び配当金の支払額が31億2百万円となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、中間連結会計期間の業績をベースに下期の各事業の営業施策等を考慮し、2024年5月10日に公表しました通期連結業績予想の売上高及び経常利益を修正いたしました。

また、セグメント別の通期業績予想についても、以下のとおり修正しております。

【2025年3月期のセグメント別予想】

	ファッション 事業	エンターテ イメント 事業	アニヴェルセ ル・プライダ ル事業	不動産賃貸 事業	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	101,600	76,300	11,700	6,700	191,800
前期比(%)	101.6	101.0	114.0	110.7	102.2
セグメント利益	8,600	5,900	500	1,600	15,000
前期比(%)	106.4	108.2	865.4	121.9	108.2

(注) セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、その他及び連結上の調整額です。

※ 上記の業績予想は、現時点で当社が入手している情報等に基づいて判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,657	32,739
売掛金	15,442	6,798
棚卸資産	22,247	22,843
その他	8,496	5,325
貸倒引当金	△42	△46
流動資産合計	81,800	67,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,406	64,610
土地	30,693	30,594
その他(純額)	15,941	16,433
有形固定資産合計	111,042	111,638
無形固定資産		
投資その他の資産	6,771	6,627
差入保証金	6,446	6,381
敷金	18,873	18,901
その他	11,446	9,588
貸倒引当金	△52	△54
投資その他の資産合計	36,713	34,816
固定資産合計	154,526	153,082
資産合計	236,327	220,742

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,713	11,288
短期借入金	—	6,000
1年内返済予定の長期借入金	9,842	10,783
未払法人税等	2,106	744
賞与引当金	3,790	1,828
役員賞与引当金	240	76
その他	17,165	14,320
流動負債合計	51,857	45,041
固定負債		
長期借入金	32,687	24,976
退職給付に係る負債	607	593
資産除去債務	7,914	7,920
その他	6,203	6,034
固定負債合計	47,412	39,526
負債合計	99,270	84,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,597	22,612
利益剰余金	92,813	92,495
自己株式	△3,047	△2,959
株主資本合計	135,645	135,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741	122
退職給付に係る調整累計額	369	330
その他の包括利益累計額合計	1,111	453
非支配株主持分	299	290
純資産合計	137,056	136,174
負債純資産合計	236,327	220,742

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	81,055	82,933
売上原価	49,466	49,894
売上総利益	31,589	33,039
販売費及び一般管理費	27,790	28,867
営業利益	3,798	4,171
営業外収益		
受取利息	31	37
受取配当金	21	16
その他	79	76
営業外収益合計	132	130
営業外費用		
支払利息	150	125
固定資産除却損	29	74
差入保証金・敷金解約損	5	104
その他	188	173
営業外費用合計	374	477
経常利益	3,557	3,824
特別利益		
固定資産売却益	—	184
投資有価証券売却益	—	563
受取解決金	500	—
特別利益合計	500	747
特別損失		
減損損失	137	682
特別損失合計	137	682
税金等調整前中間純利益	3,920	3,889
法人税、住民税及び事業税	1,065	634
法人税等調整額	826	473
法人税等合計	1,892	1,107
中間純利益	2,027	2,782
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△35	△8
親会社株主に帰属する中間純利益	2,063	2,791

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,027	2,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164	△619
退職給付に係る調整額	△35	△38
その他の包括利益合計	129	△658
中間包括利益	2,156	2,123
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,192	2,132
非支配株主に係る中間包括利益	△35	△8

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,920	3,889
減価償却費	4,710	4,960
減損損失	137	682
受取解決金	△500	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△71	△87
受取利息及び受取配当金	△53	△53
支払利息	150	125
固定資産売却損益 (△は益)	—	△184
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△563
売上債権の増減額 (△は増加)	6,865	8,644
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,921	△596
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,479	△7,425
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,482	△537
その他	△790	△3,425
小計	5,485	5,428
利息及び配当金の受取額	47	46
利息の支払額	△165	△133
解決金の受取額	500	—
法人税等の支払額	△2,987	△2,074
法人税等の還付額	873	495
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,753	3,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,510	△5,357
有形固定資産の売却による収入	833	1,185
無形固定資産の取得による支出	△392	△315
敷金及び保証金の差入による支出	△310	△365
投資有価証券の売却による収入	—	1,304
信託受益権の純増減額 (△は増加)	585	1,636
その他	340	212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,454	△1,699
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	6,000
長期借入れによる収入	6,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,956	△6,768
リース債務の返済による支出	△963	△1,109
自己株式の取得による支出	△877	△0
配当金の支払額	△1,104	△3,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,902	△4,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,602	△2,918
現金及び現金同等物の期首残高	38,295	35,657
現金及び現金同等物の中間期末残高	29,693	32,739

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッ ション 事業	エンター テイメント 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	37,641	—	—	—	37,641	—	37,641	—	37,641
複合カフェ	—	29,946	—	—	29,946	—	29,946	—	29,946
カラオケ	—	5,117	—	—	5,117	—	5,117	—	5,117
フィットネス	—	2,611	—	—	2,611	—	2,611	—	2,611
ブライダル	—	—	4,347	—	4,347	—	4,347	—	4,347
その他	—	561	—	—	561	20	581	—	581
顧客との契約から 生じる収益	37,641	38,236	4,347	—	80,225	20	80,246	—	80,246
その他の収益	—	36	—	772	809	—	809	—	809
外部顧客への売上高	37,641	38,273	4,347	772	81,034	20	81,055	—	81,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	4	0	1,951	1,959	31	1,990	△1,990	—
計	37,643	38,277	4,348	2,724	82,994	51	83,046	△1,990	81,055
セグメント利益 又は損失(△)	437	3,735	△434	461	4,200	△11	4,188	△389	3,798

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△389百万円には、セグメント間取引消去2,073百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,463百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」及び「エンターテイメント事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や業態転換が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においてはそれぞれ20百万円及び116百万円です。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッ ション 事業	エンター テイメント 事業	アニヴェ ルセル・プ ライダル 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	38,263	—	—	—	38,263	—	38,263	—	38,263
複合カフェ	—	30,849	—	—	30,849	—	30,849	—	30,849
カラオケ	—	5,081	—	—	5,081	—	5,081	—	5,081
フィットネス	—	2,500	—	—	2,500	—	2,500	—	2,500
ブライダル	—	—	4,904	—	4,904	—	4,904	—	4,904
その他	—	221	—	—	221	22	244	—	244
顧客との契約から 生じる収益	38,263	38,653	4,904	—	81,820	22	81,843	—	81,843
その他の収益	—	42	—	1,047	1,090	—	1,090	—	1,090
外部顧客への売上高	38,263	38,695	4,904	1,047	82,910	22	82,933	—	82,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	6	2	2,336	2,345	33	2,378	△2,378	—
計	38,263	38,701	4,906	3,384	85,256	55	85,312	△2,378	82,933
セグメント利益 又は損失(△)	△222	4,405	△375	792	4,601	△5	4,596	△424	4,171

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△424百万円には、セグメント間取引消去1,901百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,325百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定し又は損益が継続してマイナスとなる営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においてはそれぞれ19百万円、633百万円及び29百万円です。